



出典：独立行政法人国民生活センター

配置薬の業者が、ここ6年ほど薬の入れ替えに來なかつたので、1年前に、残っていた使用期限切れの薬を廃棄した。しかし、最近になって突然、業者が來訪し、「もう一度、置かせてほしい」と勧誘してきた。断ったところ、廃棄した分を含む薬代3万8千円を支払うように言われた。(70歳代女性)

Check!

「自分は大丈夫だと思っていませんか？」
だまされない
賢い消費者になろう!!

配置薬使用期限が切れて 処分したら代金を請求された

- 「配置薬」とは、販売員が消費者宅へ薬を預け、次の来訪時に消費者が使った分の薬代を支払う仕組みです。配置薬は、勝手に処分するとその分の代金を請求される場合があります。
- 長期間訪問がない場合でも、使わない薬は自分の判断で処分せず、解約を申し出て引き取ってもらいましょう。
- 配置薬の販売員には、法律で身分証明書の携帯が義務付けられています。来訪時には、提示を求め、連絡先をメモしておきましょう。
- 困ったときは、市民生活課 生活環境係、または消費者ホットラインにご相談ください。

ひとこと助言

問い合わせ 市民生活課 生活環境係 ☎75-6117 消費者ホットライン ☎188

スペースマーケット

貸し会議室から球場まで！
レンタルスペースの簡単予約！



詳しくは
多久市ローカルシェアリングセンターへ

多久市から広がるシェアリングエコノミー ①「空きスペースの有効活用 編」

レンタルスペースで
簡単予約



SPACEMARKET (スペースマーケット)

スペースマーケットは、空きスペースを貸し借りし、有効活用できるマッチングサービスです。会議室からキッチン付きのレストラン、映画館まで、約8,000件のスペースが登録されています。イベント会場として、会議室として、いつもとは一味違った空間を楽しんでみませんか。



スペースあれこれ

空きレストランでパーティ



廃校でコスプレイベント



空きスタジオで音楽イベント



映画館でプレゼン大会



佐賀にも数件の
スペース登録が！



今月のシェアサービスは「株式会社スペースマーケット」でした。
来月は多久のママさんに話題の「在宅ワーク」をご紹介します。

問い合わせ

ひととごと創生協議会 事務局：多久市ローカルシェアリングセンター
(運営：NPO法人価値創造プラットフォーム) 北多久町小侍1088-2 ☎37-1323